

# 「高知県橋梁会 平成 30 年度 第 3 回研修会」報告

高知県橋梁会理事 岡林 弘憲

(一社)土木学会四国支部と高知県橋梁会の共催による平成 30 年度 第 3 回研修会が、2018 年 12 月 14 日(金)に、高知市本町にある高知会館の「白鳳の間」で開催された。

研修会では、①自己治癒コンクリート、②仮設橋梁と仮設土留の工期短縮、③技術士取得に関する体験談、④災害とリスクコミュニケーションの 4 テーマについて講演を行った。

師走を迎え何かと忙しい時期にもかかわらず 103 名が参加し活発に質疑応答を行うなど、非常に有意義な研修会となった。

## ■研修会 (13:30~17:00)

研修会の開催に先立ち、右城会長から開催の挨拶が行われた。本会の研修会の参加人数が増え、研修会場と懇親会場を変更したことなど、参加者へ感謝の言葉があった。また、本日の各講師の紹介があった。(13:30~13:40)



右城会長による開会の挨拶

1 番目の講演は、會澤高圧コンクリート(株)の中村聖二氏から「自己治癒コンクリート(バジリスク)」と題し、コンクリート補修に関する新工法の紹介があった。

バジリスクは、コンクリート中にバクテリアを混入することで、クラックが大きくなる前のマイクロクラックの段階でバクテリアが自己治癒する新工法である。補修工事では、クラックに 1 回塗布で 0.2mm までを、2 回塗布で 0.6mm までのクラックを修復することができる。

現在はオランダからの輸入のため高コストであるが、国内生産で低コストとなるようシステムを作り上げている等の説明があった。(13:40~14:20)



中村聖二氏による講演

2 番目の講演は、ジェコス(株)の鳥取氏と大野氏から「仮設橋梁における大型クレーン対応と仮設山留の工期短縮」と題し、長スパンの仮設組立橋梁「PABRIS(パブリス)」と仮設土留工の省力化を図る「Eco ラム工法」の紹介があった。

PABRIS は、ジェコスと横河ブリッジの仮橋事業部の提携により開発され、適用スパン 14~36m(@2m)と長スパン化された仮橋である。従来では対応できなかった跨線や跨道箇所での適用、河川への仮橋通年設置、下横構や足場板を兼ねる G-PANEL 等の紹介があった。

Eco ラム工法は、角型鋼管切梁の使用により切梁スパンを長くでき、中間杭を必要としないため本体工事の省力化を可能とする新工法である。また、H-50 用高強度腹起しを併用することで、腹起しと切梁間隔を長スパン化し、土留工内の作業空間を広くできることから、作業効率が大幅に向上する等、施工実績を踏まえて工法の紹介があった。

(14:20~16:50)



鳥取一雄氏と大野竜二氏による講演

3 番目の講演は、(株)久本組、(公社)日本技術士会理事の河野千代氏から「高等学校普通科卒の女性でも技術士になれる！」と題し、技術士受験～合格後の体験談の紹介があった。

河野氏は和歌山県立串本高校卒業後、24 才の時に入社した大日本土木(株)では、山岳トンネルの現場で作業員の感覚と職人技に大きな衝撃を受け、技術者として「並み」でなく「超一流」への目標ができた。平成 14 年に入社した(株)久本組では、回りの社員より多くの成果を出すことに努力した。超一流の技術者や尊敬する経営層を参考書として技術士建設部門(鋼コン)へ合格するとともに、企画支援室室長へ昇進した。

技術士合格後、さらなるチャレンジに挑戦し日本技術士会理事就任、近畿本部副本部長就任などの紹介があった。(15:20～16:20)



河野千代氏による講演

4 番目の講演は、(株)アンプルの北川尚氏から「災害の危険性とリスクコミュニケーション」と題し、災害の危険性に関する情報共有、対話や意見交換による意思疎通の重要性などの提言があった。

今年度も多くの大規模災害が発生したこと、国土強靱化によって災害はなくなるのか、災害に対する楽観主義ではなかったか、設置した土木構造物の適用限界について説明責任は十分だったのか、安全と安心は別物であり安心は安全の敵であるなどの提起があった。

今後は、災害外力の特性を知ったうえでハード対策を実施すること、構造物の破壊は無意味でなく被害軽減に寄与していること、住民への安心と安全は別物について説明していくこと等の提言があった。

(16:20～16:50)



北川尚氏による講演

研修会では、参加者が熱心に聴講するとともに、各テーマに対して活発な質疑応答がされた。



熱心に聴講する参加者



質問する参加者



質問する参加者

吉田副会長による閉会の挨拶では、本日の講演者や参加者への謝辞、次回研修会の開催予定、講演内容の募集などの報告をいただいた。(16:50~17:00)



吉田副会長による閉会の挨拶



岡林理事による司会

### ■忘年会(17:30~19:30)

研修会終了後、会場を「飛鳥の間」に移して忘年会を開催した。参加者は講師の方々を含めて65名と盛況であった。

右城会長による開会の挨拶の後、本会の名誉会員である参議院議員の高野光二郎先生に来賓の挨拶をいただき、高知県議会議員の久保博道先生による乾杯の音頭で忘年会を開始した。



右城会長による開会の挨拶



高野先生による来賓の挨拶



久保先生による乾杯の音頭





歓談のようす



歓談のようす



歓談のようす



吉田副会長による中締め



歓談のようす



歓談のようす

#### ■あしがき

研修会では、今回も 103 名と多くの皆様に参加をいただきました。今回の研修会から多くの方に参加していただいてもゆったりと聴講していただけるよう、会場をこれまでの飛鳥の間から収容人数の多い白鳳の間へ変更しました。

高知県橋梁会では、研修内容を充実し有意義な研修会になるよう、また多くの方に参加していただけるよう活動を続けてまいりたいと思います。今後も会員会社の皆様のご協力をよろしく願います。